

環境経営レポート

令和6年度

(活動対象期間 令和6年4月～令和7年3月)



小菱商事株式会社

〒103-0011

東京都中央区日本橋大伝馬町2-7

TEL 03-3664-0161

FAX 03-3666-8462



認証番号 0005637

発行 令和7年7月18日 Vol. 16

1. 企業の概要

1) 事業所名及び代表者名

小菱商事株式会社

代表取締役社長 寺内 字郎

2) 所在地

東京都中央区日本橋大伝馬町2-7

3) 環境管理責任者

常務取締役 宮崎 構

4) エコアクション21 連絡担当者（EA21事務局）

総合管理部 管理課 石川 和樹

TEL 03-3664-0161 FAX 03-3666-8462

5) 登録活動の範囲

産業用繊維資材、鉄鋼・線材製品、化成品・合成樹脂の原料・製品、産業機械類の販売

6) 事業の規模（令和7年3月期）

従業員 27名

資本金 10,000万円

年商 3,255百万円

床面積 952.00平方メートル

2. 環境経営方針

「環境経営方針」

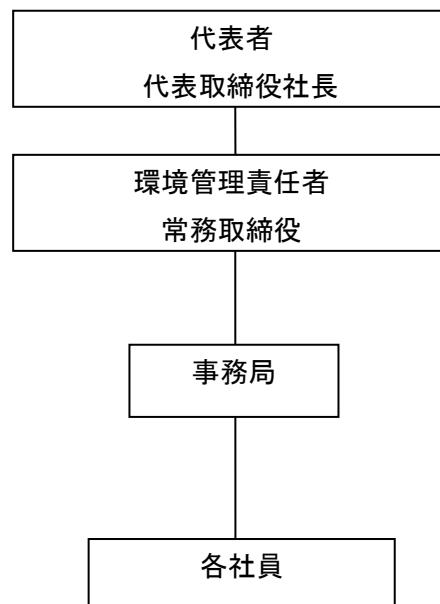
小菱商事株式会社は、商事会社としての社会的責任を自覚し、企業活動を行うにあたり、地球環境の保全および限りある資源の有効利用に努め、持続的継続を目指し質的向上を進めていきます。

小菱商事株式会社は、お取引をいただく全てのお得意様に原料から製品までを提供する企業活動において、地球環境への関わりを認識評価し、下記の通り行動方針を定め全従業員に周知し、全員参加で取り組む事とします。

1. 地球温暖化防止のためエネルギー使用量の削減に努めます。
2. 節水等省資源に努めます。
3. 廃棄物の発生を抑制し廃棄物のリサイクル化を図ります。
4. 環境に関する法規制および行政の環境施策を遵守し、環境保全に努めます。
5. 環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。

令和7年4月1日
小菱商事株式会社
代表取締役社長 寺内 字郎

3. 実施体制＆役割分担



区分	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none">・ 環境経営方針を定める・ 環境管理責任者を指名・ EA21活動に関する、資源（人材・資金）を用意・ システムの見直しの指示
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none">・ システムの実行総責任者・ システムの実績・経過を代表者に報告・ システムの見直しをする為の資料のまとめ・ 環境経営目標・環境経営活動計画の見直し・ 代表者へ活動報告と改善提案
事務局	<ul style="list-style-type: none">・ 環境経営目標の立案・ 環境経営活動計画の立案・ 文書作成、管理・ 環境教育の実施・ 環境経営活動の実績管理・ 環境経営活動の監視・評価
各社員	<ul style="list-style-type: none">・ 作業教育の実施・ 活動の実施と運用

4. 令和6年度環境経営目標（3ヶ年計画）

大項目	項目名	令和6年度	令和7年度	令和8年度
(1) 二酸化炭素削減	電力消費量削減	使用量把握	令和6年度実績対0.2%削減	令和6年度実績比0.3%削減
	車両燃料消費量削減（燃費向上）	令和5年度実績比燃費0.05%向上	令和5年度実績比燃費0.05%向上	令和5年度実績比燃費0.05%向上
	二酸化炭素排出量削減	排出量把握	令和6年度実績比0.15%削減	令和6年度実績比0.30%削減
(2) 廃棄物削減	業務効率向上指標 コピー用紙投入量削減	令和5年度比 0.39%削減	令和5年度比 0.78%削減	令和5年度比 1.16%削減

5. 環境経営活動計画の取組

	環境経営目標	活動計画－具体施策－
1	電力消費量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ① 必要のない場所の消灯・空調OFF ② 事務所内に温・湿度計を設置 ③ サーキュレーターで空気を循環させる ④ 室内温度の夏28°C・冬22°C ⑤ 時間帯・外気温・湿度に合わせた空調設定。こまめな温度調整。 ⑥ 夏と冬でエアコンの風向きを変える ⑦ 暖房便座の蓋を必ず閉める ⑧ PC電源管理・帰宅時コンセントを抜く
2	車両燃費消費量の削減 (燃費の向上)	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイブリッド車の投入(買替の場合) ・車両の燃料使用量と走行距離のチェック ・エコドライブ推奨による燃費向上を図る ① ふんわりアクセル ② 加減速の少ない運転 ③ エアコンの使用は適切に ④ 空気圧チェック ⑤ 不要物を積まない
3	業務効率向上指標 コピー用紙投入量の削減	<ul style="list-style-type: none"> ① ペーパーレス ② 裏紙使用 ③ 両面・集約印刷の実施 ④ 印刷が必要なのか考える ⑤ プロジェクター導入(打合せ・会議時使用)

6. 環境経営目標の実績とその評価

	項目	単位	基準 (令和5年度)	目標 (令和6年度)	実績 (令和6年度)	達成状況 (目標比)
1	電力消費量の削減 評価 5%許容	KWH	32,334	使用量把握	37,030	—
2	車両燃料消費量の削減 (燃費の向上)評価 5%許容	km/l	18.76	18.77	18.66	○ 99.41%
3	業務の効率化に伴うコピー用紙投入量の削減 評価 5%許容	枚	129,500	129,000	129,000	○ 目標達成
4	二酸化炭素排出量の削減 評価 5%許容	Kg - CO2	18,156	排出量把握	22,321	—

- 評価基準 増加目標 95%以上 · · · ○ 94%以下 · · · ×
削減目標 105%以下 · · · ○ 106%以上 · · · ×
- 電力消費の CO2 排出係数は、東京電力エナジーパートナー **0.475kg-CO2/kwh**
(令和7年3月環境省・経済産業省公表)を使用
- 二酸化炭素の排出削減項目について
当社では、電力消費、ガソリン消費が二酸化炭素排出要件となります。
- ガソリンについては、営業活動における活動量(移動頻度)の増減に消費量が比例するため、
消費量の低減ではなく、「燃費効率」の向上を目標としています。

7. 次年度の取り組み内容

活動計画 一具体施策一	
節電の具体施策を継続して取り組む	① 必要のない場所の消灯・空調OFF ② 事務所内に温・湿度計を設置 ③ サーキュレーターで空気を循環させる ④ 室内温度の夏28°C・冬22°C ⑤ 時間帯・外気温・湿度に合わせた空調設定。こまめな温度調整。 ⑥ 夏と冬でエアコンの風向きを変える ⑦ 暖房便座の蓋を必ず閉める ⑧ PC電源管理・帰宅時コンセントを抜く
車両燃費効率の向上(維持)に取り組む	・ハイブリッド車の導入/適切な時期の買替え ・車両の燃料使用量と走行距離のチェック ・燃料使用量の累計を記録 ・エコドライブ推奨による燃費向上を図る ① ふんわりアクセル ② 加減速の少ない運転 ③ エアコンの使用は適切に ④ 空気圧チェック ⑤ 不要物を積まない
業務の効率化に伴うコピー用紙投入量(購入量)の削減に取り組む	① ペーパーレスの習慣化(必要最低限の印刷) ② 不要紙の裏紙利用 ③ 両面・集約印刷による印刷枚数の低減 ④ PC・プロジェクターの積極的な使用(会議・打合せ等)

8. 環境関連法規制への違反、訴訟等の有無

	該当する環境関連法規	義務事項	遵守評価
1	下水道法	・油、有害物質は流さない	違反なし
2	一般廃棄物	・行政分別指導により実施	〃
3	廃棄物処理法	・産業廃棄物保管場所基準の遵守 ・産業廃棄物委託契約の締結 ・産業廃棄物マニフェストを収集運搬/処分委託業者へ 交付し回収する ・マニフェストの前年度交付状況の報告(知事)	〃
4	化学物質 (RoHS 指令・REACH 規則)	・営業に確認	〃
5	家電リサイクル法	・買替時にリサイクル料の支払い	〃
6	自動車リサイクル法	・買替時にリサイクル料の支払い	〃
7	都民の健康と安全確保に関する条例	・エコドライブ ・アイドリングストップ	〃
8	中央区廃棄物の処理及び再利用に関する条例	・廃棄物の減量 ・廃棄物の適切な処理	〃
9	フロン排出抑制法	・簡易点検 ・目視確認	〃

※ 環境関連法規制の遵守評価の結果問題ありませんでした。

過去 3 年間、関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟・苦情はございません。

9. 活動の推移

	項目	単位	令和 4 年度実績	令和 5 年度実績	令和 6 年度実績
1	電力消費量の削減	KWH	23,745	32,334	37,030
2	都市ガス消費量の削減	m ³	0	0	0
3	車両燃料消費量の削減 (燃費の向上)	km/ℓ	17.68	18.76	18.66
4	業務の効率化に伴う コピー用紙投入量の削減	枚	130,000	129,500	129,000
5	二酸化炭素排出量の削減	Kg-CO ₂	16,745	18,156	22,321
6	一般廃棄物排出量の削減	ℓ	※測定不可	※4,295	12,900
7	産業廃棄物排出量の削減	t	0	3.85	0
8	総排水量の削減	m ³	※155	※139	129

電力消費の CO₂ 排出係数は、東京電力エナジーパートナー 0.475 kg-CO₂/kwh

(令和 7 年 3 月環境省・経済産業省公表) を使用

実績値※印 維持項目

令和 4 年度及び令和 5 年 4 月から 9 月迄の一般廃棄物については仮事務所のビル管理会社の清掃会社が回収の為、測定不可。したがって、令和 5 年度実績は 10 月から 3 月迄の期間の集計となります。

10. 代表者による全体評価と見直しの結果

	項目	見直しの有無	評価コメント
1	環境経営方針	なし	環境経営方針は継続とする。
2	環境経営目標	なし	新社屋で初めて通期を過ごした令和 6 年度の計測値を基準とし、令和 7 年度以降の目標を設定する。
3	環境経営活動計画	あり	「廃棄社内在庫の削減」項目に関して、直近で在庫の発生がなく今後当面の発生も見込んでいない為廃止とする。
4	代表者の全体評価	-	<p>令和 6 年度は新社屋で通期を過ごす初年度となった。節電・節水の意識は継続しており、未使用箇所の照明器具、空調設備のスイッチオフは全社員が習慣化している実感がある。</p> <p>営業車両の燃費効率は、昨年比で向上はしなかったものの、18.66km/ℓと高い水準と評価できる。運用する 3 台すべてがエコカーである為、更なる燃費効率の向上よりも、高い水準の維持を目指す方針。</p> <p>社内打合せ及び会議等にて資料・記録等に「紙」を使用することが主流であったが、PC 及びプロジェクターの使用が増加しており、ペーパーレス化と共に業務の効率化につながっていると評価。電子化できる業務と「紙」だからこそ成り立つ業務を切り分け、さらなる業務の効率化を図りたい。</p> <p>当社は製造機能を持たない為、社会環境や地球環境に対する直接的な働きかけは難しいが間接的な関与は可能である。例えば当社が提供した材料の使用、または提案した作業方法等により取引先企業内で排出される CO₂ あるいはゴミの削減に寄与する場合が往々にしてある。ゆえに当社が本来事業の業績を伸ばすことが環境への貢献と捉え、これを「当社における環境活動」と位置付ける。</p> <p>令和 6 年度はこの考えに基づき、パートナー企業と定期的な戦略会議のスタートを切った。会議において PDCA サイクルを回しながら、取引先各社を経由した環境活動に取り組んでいきたい。</p>

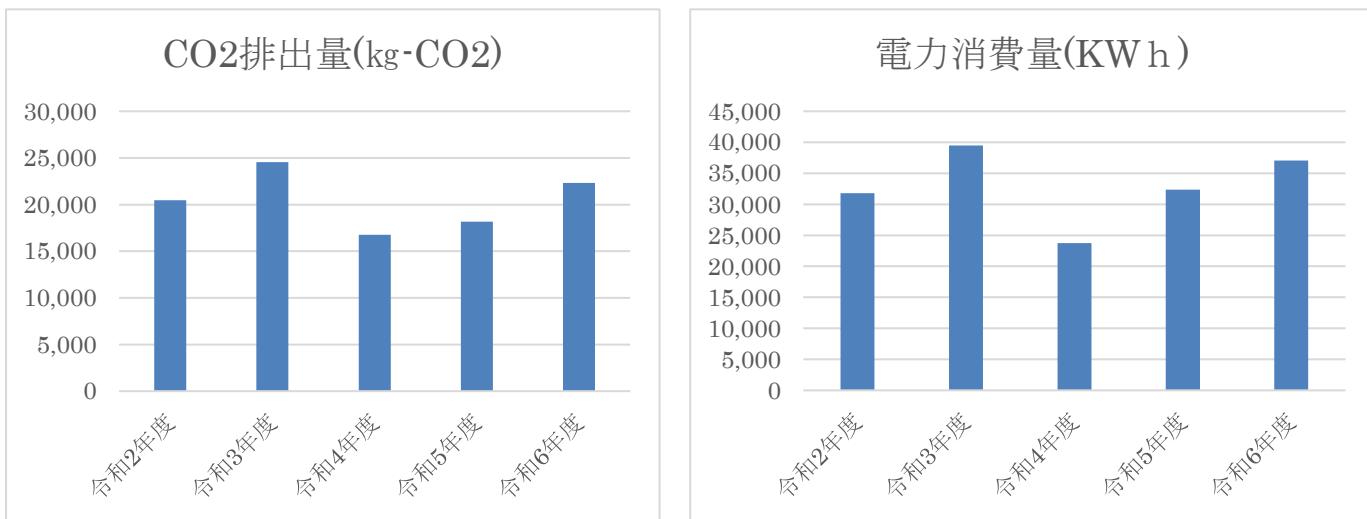
11. 活動トピックス

1) 節電

令和6年度は新社屋で通期を過ごす初年度として電力消費量の把握に努める年度と位置付けておりますが、昨年度から引き続き「節電」意識を継続してまいりました。具体的には、照明器具・空調設備などの「未使用箇所スイッチオフ」の徹底です。活動の定位置となる3階・4階フロア以外の2階打合せルームや5階多目的ルーム、及び各トイレがその対象となります。

社員の習慣化はもとより、来社された取引先の方、会社訪問や採用面接で来社された就職活動生等の外部の方に対しても、トイレ使用後のスイッチオフの呼び掛け、或いは表示による周知を行っています。

電力消費量、二酸化炭素排出量の令和6年実績をみると令和5年度比で増加となっております。令和5年度は4月から9月の半年間を仮事務所(1フロアの電力消費量)で過ごしており、これに対して通期を新社屋(ビル全体の電力消費量)で過ごした令和6年度の増加はやむを得ないとみています。令和7年度以降は令和6年度の計測結果を基準に、引き続き節電意識を持った運用をしてまいります。

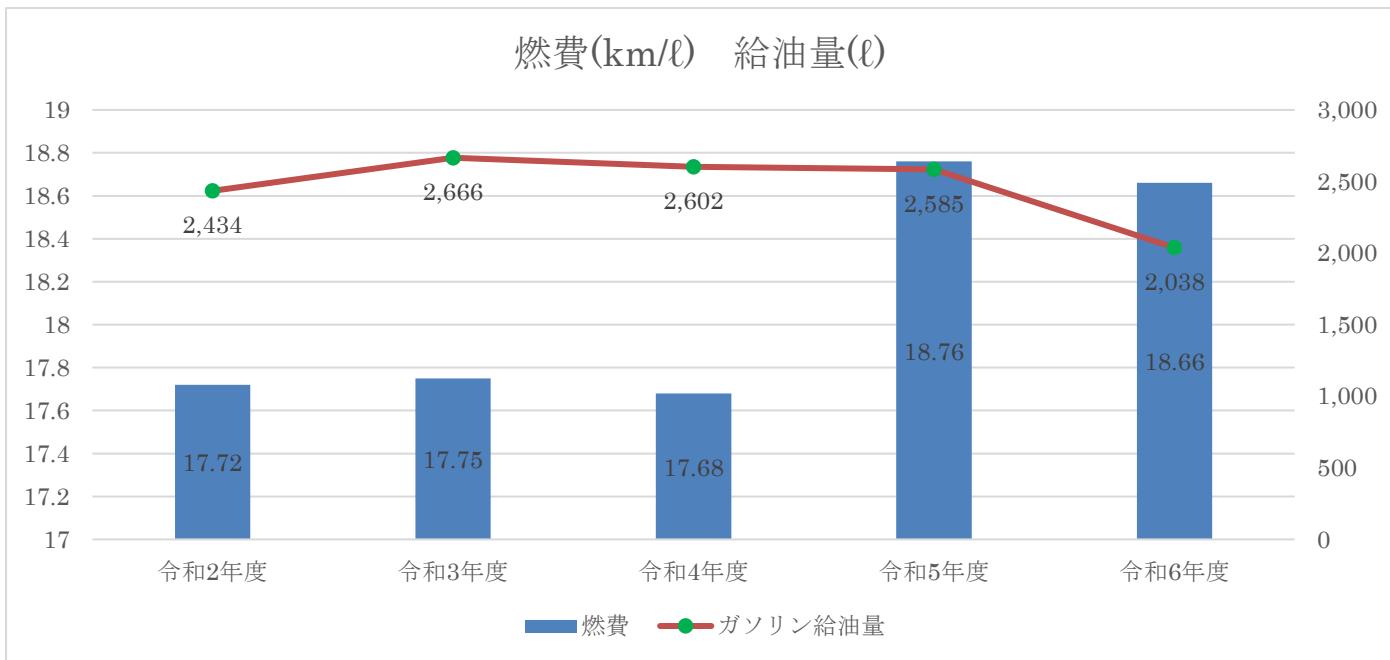


電力消費のCO2排出係数は、東京電力エナジーパートナー0.475kg-CO2/kwh
(令和7年3月環境省・経済産業省公表)を使用

2) 営業における移動手段の拡充

昨年度から引き続きエコカー3台体制で運用しており、燃費は向上しなかったものの18.66km/lと高燃費を維持することができました。

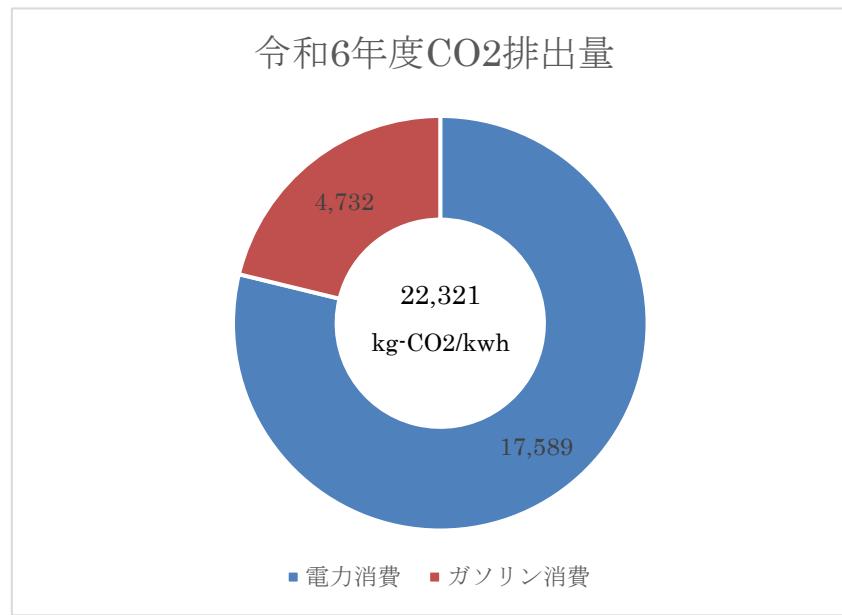
また、今年度はより適切な移動手段の選択による営業活動の効率化を目指して、カーシェアサービスの利用を開始致しました。これまで「とりあえず営業車で出掛ける」習慣がありましたが、公共交通機関と短時間のカーシェアを利用し商談終了後には直帰するなど、かならずしも営業車を使用して取引先と自社を往復する必要がないということが再確認できました。これにより、営業活動の効率化だけでなく、不必要的営業車利用が減り、ガソリン消費量(カウントは給油量)が削減されることを期待しています。営業車台数の違いはありますが、令和5年度2,585l/年の給油量に対して令和6年度は2,038l/年(約20%削減)となっており、通期を通してカーシェアを利用する令和7年度はさらに削減されるものと予想しています。(ただし、ガソリンの給油量は活動頻度に比例して増減する為、量の削減を目標としては掲げません)



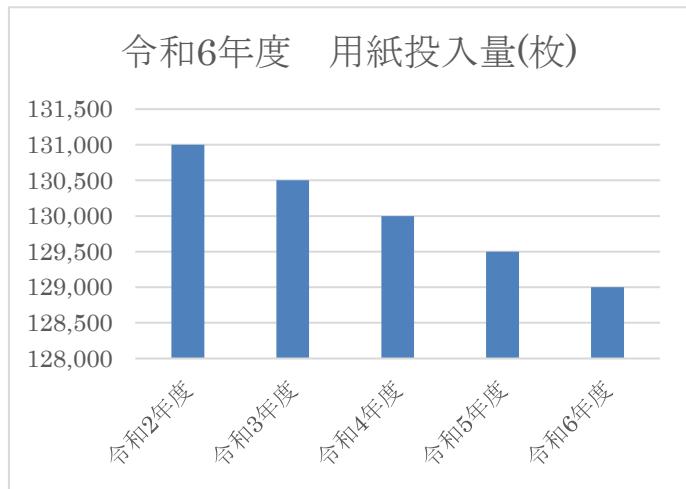
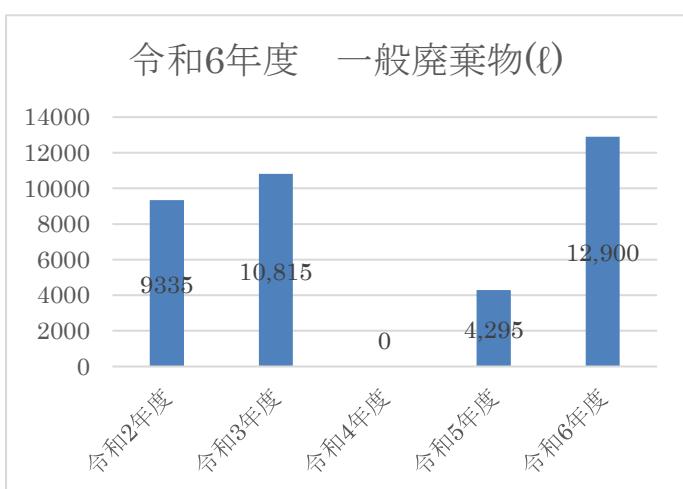
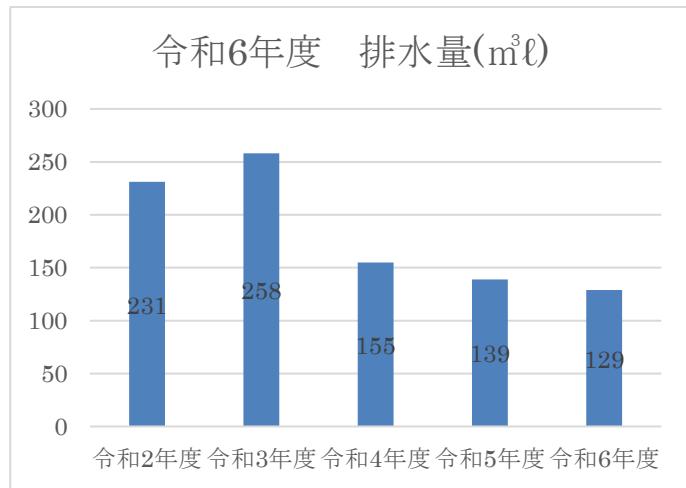
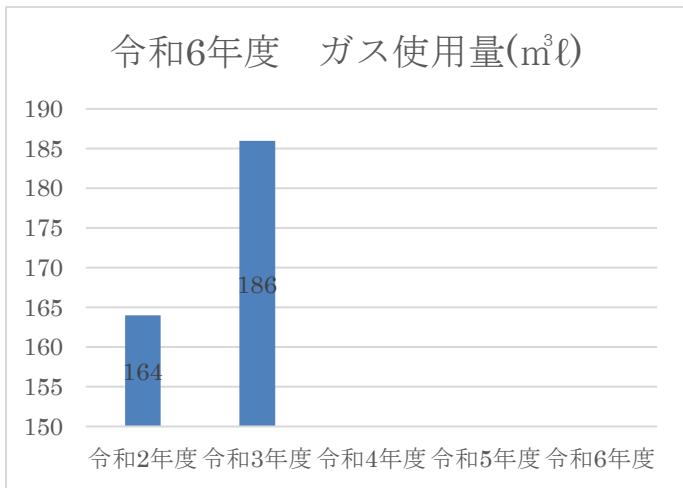
3) 地域クリーン活動

環境美化の取り組みとして毎年5月30日（ごみゼロの日）に近い日曜日に、町会による区内の一斉清掃（クリーンデー）に参加しております。令和6年5月及び令和7年5月にも参加させていただき町会内の参加者と交流しながら地域の環境美化に取り組みました。

【当社の二酸化炭素排出量と構成】



電力消費のCO2排出係数は、東京電力エナジーパートナー0.475kg-CO2/kwh (令和7年3月環境省・経済産業省公表)を使用



4) 本来事業を通した環境への取組み

2010年のエコアクション21登録認証取得から、自社内で節電・節水等の活動を継続してまいりました。これに加え今年度より、本来事業の業績を伸ばすことを「当社における環境活動」と位置付けることとしました。評価の仕方、目標の定め方に関しては目下検討課題としつつ、当期においてはパートナー企業との定期戦略会議をスタートしこれを継続的に行なうことが上記取組みの一環と考え、その開催実績を追うことと致しました。

記録期間：令和6年4月～令和7年7月(本表作成時)

相手企業	実施日	内容	参加者
化学品メーカーA	2025/2/18	キックオフミーティング	寺内/角谷/中野/江戸/末友/西山/中山/木村/岸
	2025/3/12	進捗会議	寺内/角谷/中野/江戸/末友/西山/中山/木村/岸
	2025/4/15	進捗会議	寺内/角谷/中野/江戸/末友/西山/中山/木村/岸/今野
	2025/5/16	進捗会議	寺内/角谷/中野/江戸/末友/西山/中山/木村/岸/今野
	2025/6/17	進捗会議	寺内/角谷/中野/江戸/末友/西山/中山/木村/岸/今野
	2025/7/18	進捗会議	寺内/角谷/中野/末友/西山/中山/木村/岸/今野
機器メーカーB	2025/3/24	キックオフミーティング	角谷/江戸/末友/長谷川/西山/中山/木村/岸
	2025/4/18	進捗会議	角谷/江戸/末友/長谷川/西山/中山/木村/岸/今野
	2025/5/16	進捗会議	角谷/江戸/末友/長谷川/西山/中山/木村/岸/今野
	2025/6/17	進捗会議	角谷/江戸/末友/長谷川/西山/中山/木村/岸/今野
	2025/7/18	進捗会議	角谷/江戸/末友/長谷川/西山/中山/木村/岸/今野

* 次回活動レポートの発行予定・・令和8年7月

以上